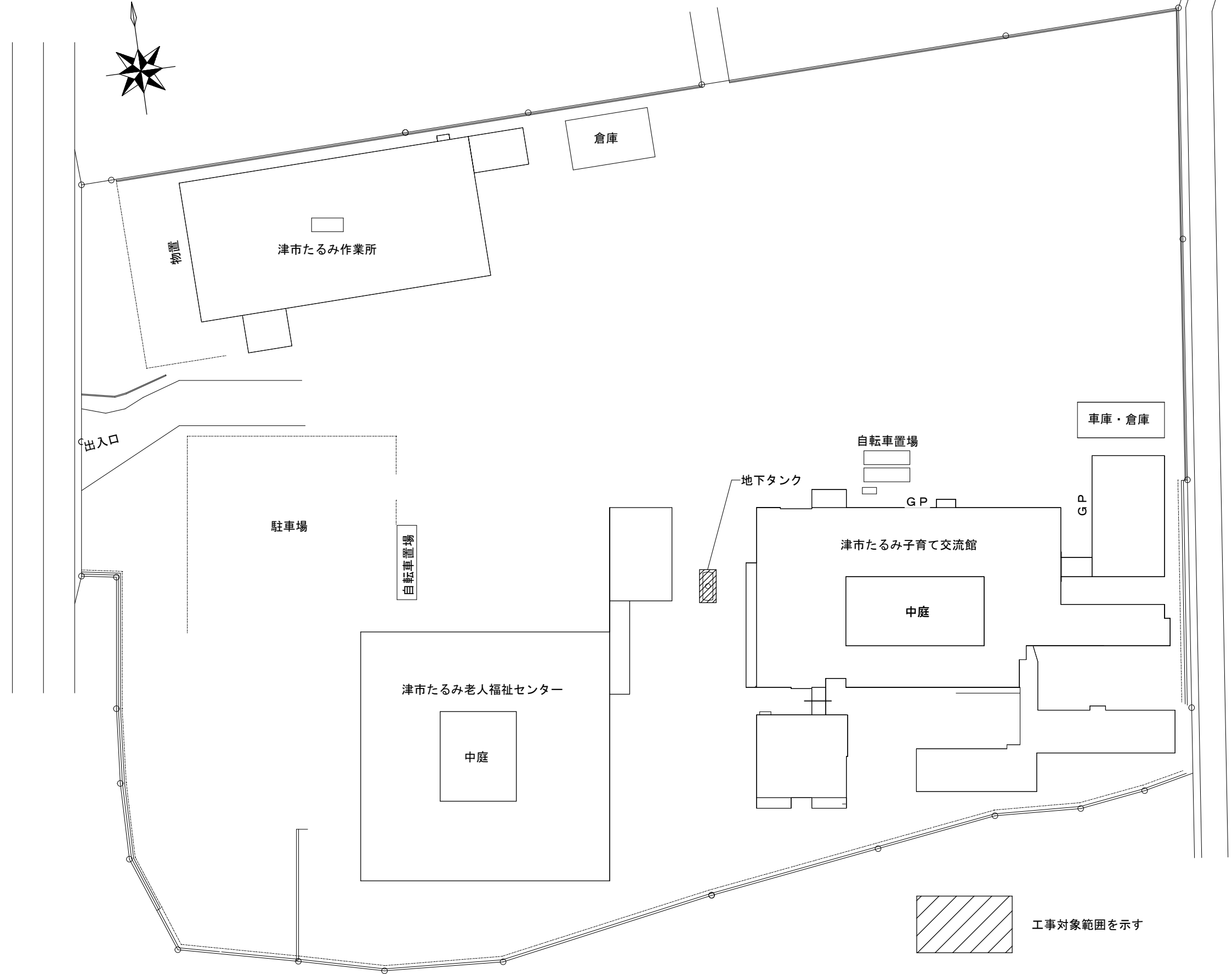




位置図



配置図 S=1/600

特記事項
(工事概要)

- ・ 既設地下タンク（6,000L）1基の内部ライニング工を行う。

(施工条件)

- ・ 契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- ・ 作業着手までの期間に調査及び、施工計画書等を作成し、市監督員の承諾を得ること。
- ・ 作業着手までの調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- ・ 工事期間中も施設を利用するため、安全対策には十分配慮すること。なお、作業時期については、施設運営に支障をきたさないよう監督員、施設管理者と打合せをし、工事の日程を決めること。
- ・ 作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に市監督員に報告をすること。
- ・ 設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- ・ 工用水、電力については既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に打合わせのうえ計画し施工すること。
- ・ 工用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。

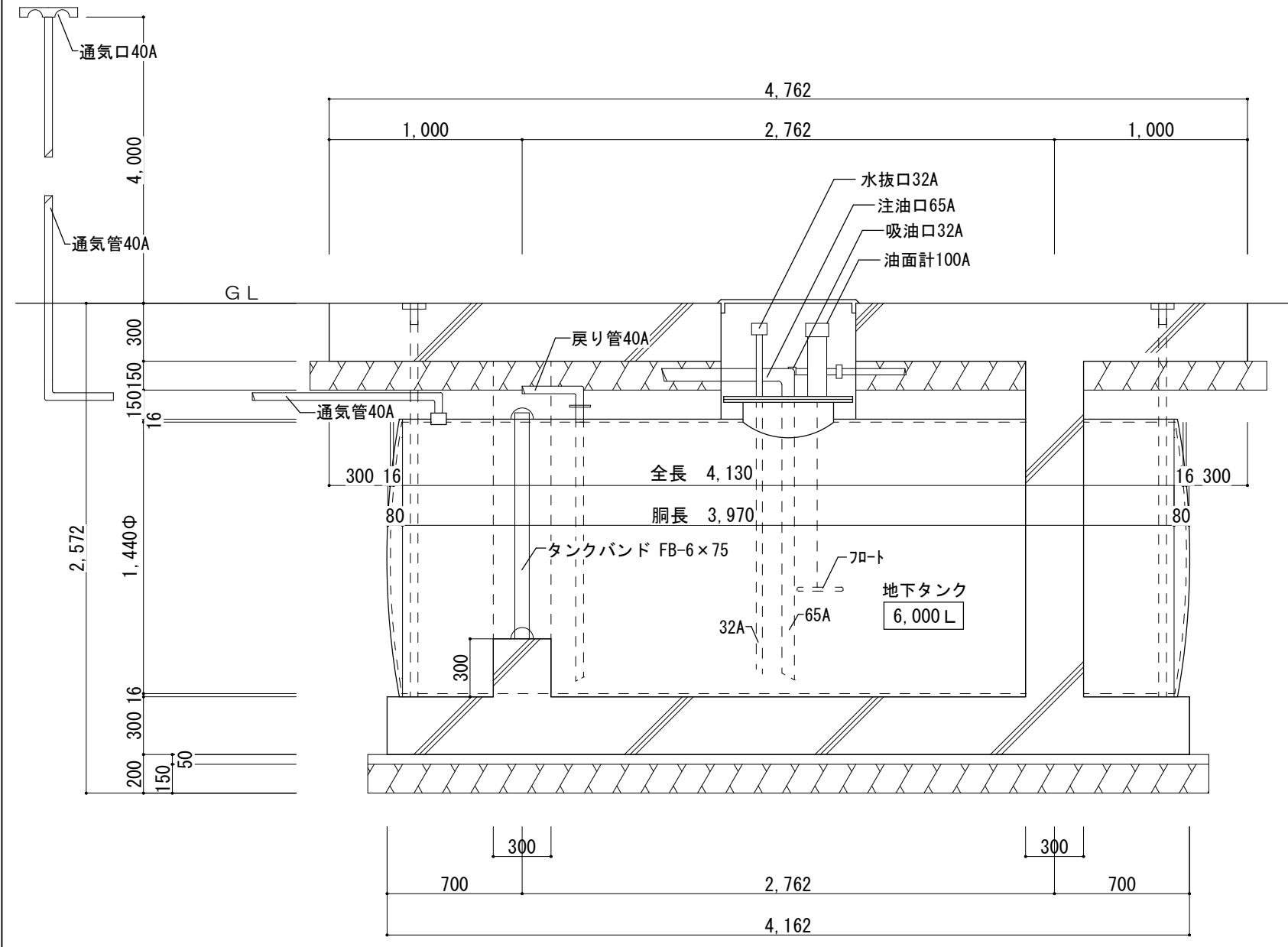
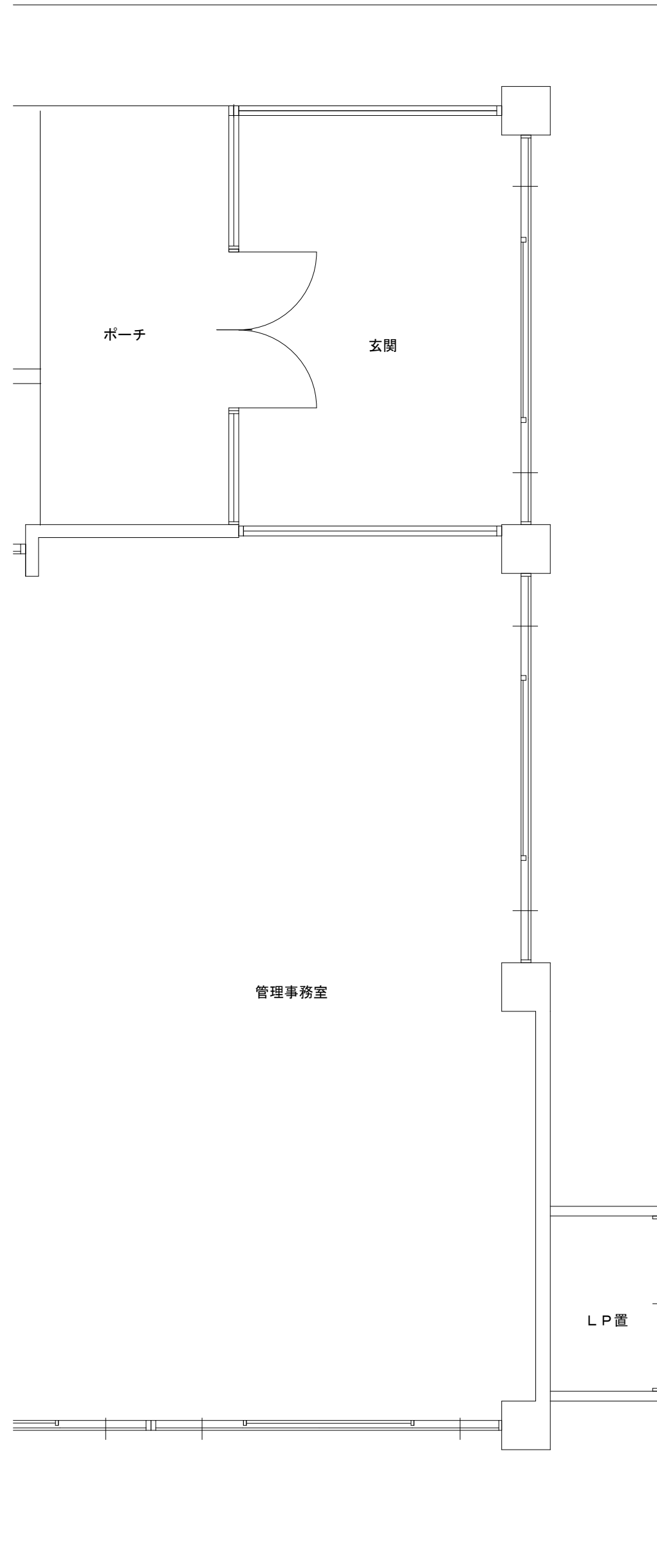
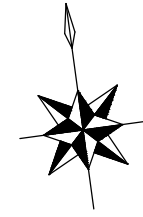
(撤去処分)

- ・ 本工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。
- ・ また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- ・ 工事完了後、マニフェストA、B2、D票を市監督員に提示すること。

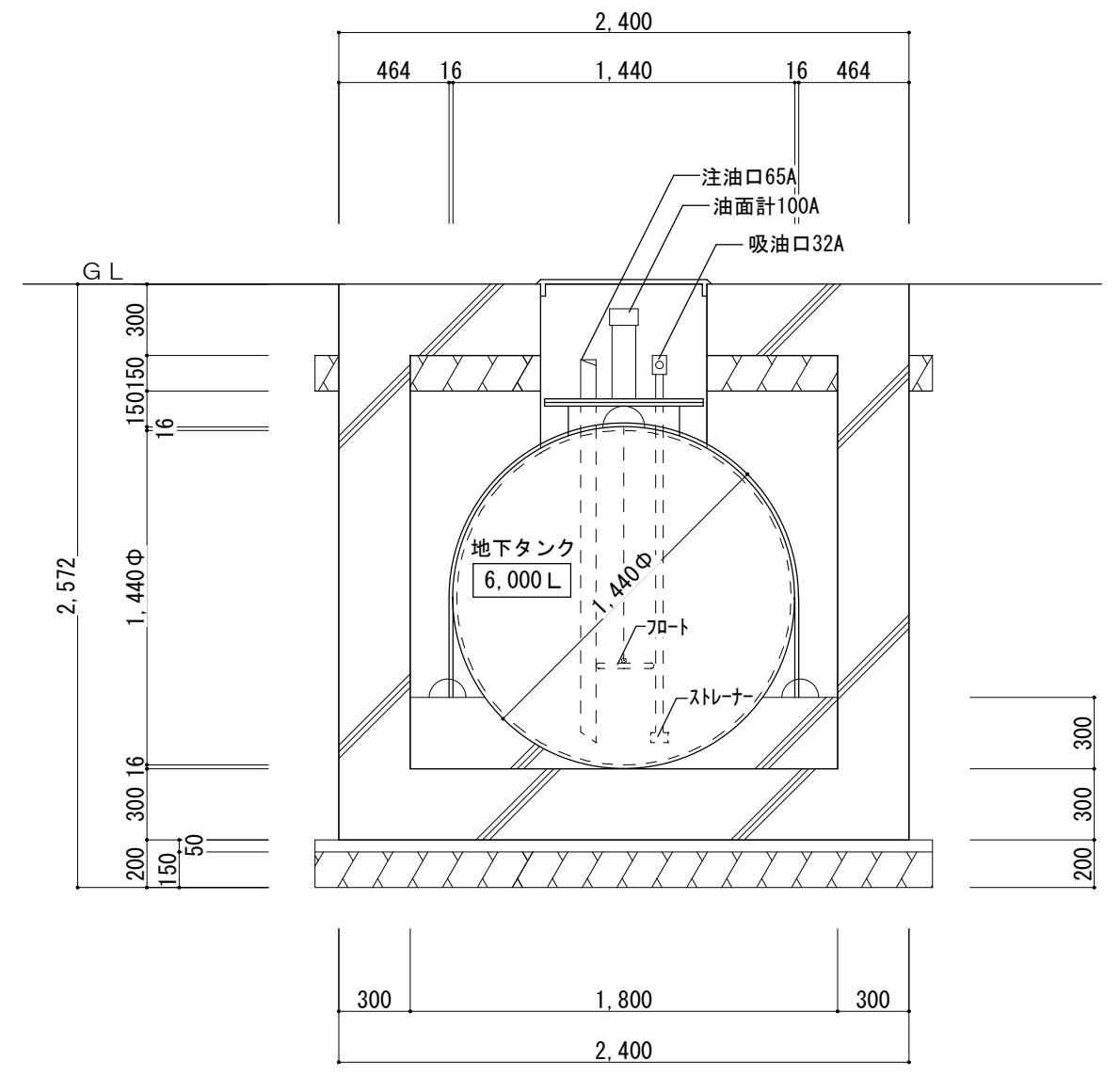
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による

- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」
「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成31年版」
「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）平成31年版」
「建築、電気、機械設備工事監理指針令和元年版」
独立行政法人 建築研究所監修
「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」

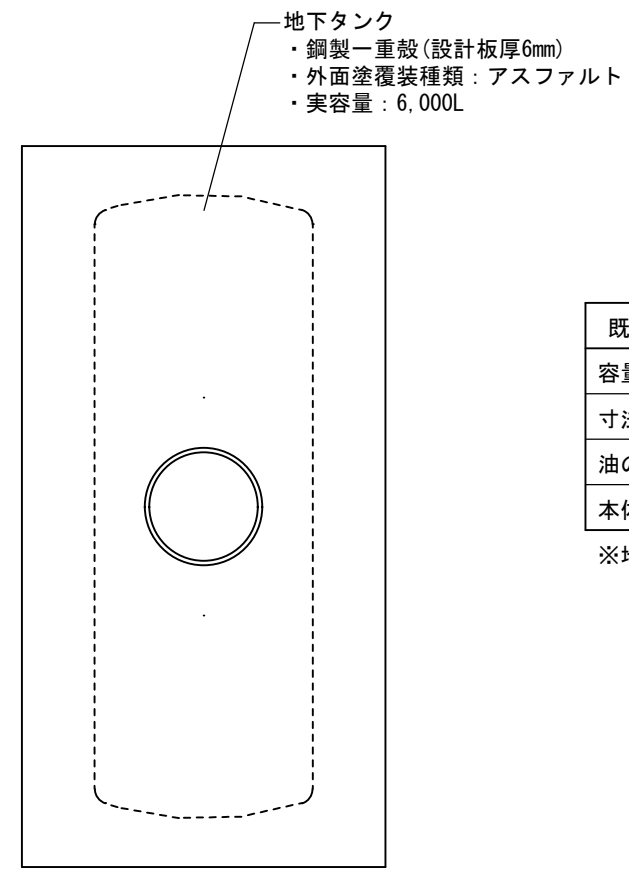
津市たるみ老人福祉センター地下タンクライニング工事		縮尺 1/600
図面名称	位置図・配置図・特記事項	原図：A2
津市建設部営繕課		No. 1/2



既設地下タンク断面図 S=1/30



既設地下タンク断面図 S=1/30



既設地下タンク仕様	
容量	6,000L
寸法	1,440φ × 4,130mm
油の種類	A重油
本体	鋼板 (SS-41) t=6mm

※地下タンク内重油残量 4,400L程度

- 地下タンクライニング工事要領
1. 消防第144号「既設の地下貯蔵タンクに対する流出防止対策等に係る運用について」に基づき施工を行うこと。
 2. タンク内の重油を処分後、タンク内面のクリーニングを行う。
 3. 内部下地処理の上、FRP (不飽和ポリエステル樹脂)にてライニング工事を行う。
 4. 施工完了後、タンク内部非破壊検査及びタンク圧力検査を行う。
 5. 施工後は一般財団法人全国危険物安全協会より施工証明書及びFRP内部ライニング施工済証の交付を受けること。
 6. 施工に伴う各種申請費については受注者の負担とする。
 7. 二級強化プラスチック成形技能士又はこれと同等以上の知識及び技能を有するものが作業を行うこと。
 8. 当該作業は、地下貯蔵タンクの内部の密閉空間において作業を行うため、可燃性蒸気の除去等火災や労働災害等の発生を防止するための措置を講ずること。
 9. 作業するにあたり、コーンバー等で施設利用者への安全対策を講ずること。

平面図 S=1/50

津市たるみ老人福祉センター地下タンクライニング工事		縮尺	1/50, 1/30
図面名称	平面図・工事要領・既設地下タンク断面図	原図	A 2
津市建設部営繕課		No.	2/2